平成 26 年 5 月 9 日

各　　位

会 社 名 株 式 会 社 ア サ カ 理 研
代 表 者 名 代表取締役社長　野 納 敏 展
(コード番号:5724)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 鈴 木　忍
TEL. 024-944-4744(代)

平成 26 年9月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異および特別利益計上に関するお知らせ

当社グループは、平成 26 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間の業績について、平成 25 年 11 月 8 日に公表しました連結業績予想と、差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異について
(平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	4,207	△225	△236	△173	△69 円 77 銭
実績値(B)	4,084	△118	△127	△40	△16 円 10 銭
増減額(B－A)	△123	106	109	133	－
増 減 率	△2.9%	－	－	－	－
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 9 月期第 2 四半期)	4,781	152	154	95	38 円 42 銭

2. 差異が生じた理由

各段階利益において、業績予想値と実績値の差異が生じております。これは、上期発生予定であった研究開発費の発生が下期にずれ込んだこと、および下期発生予定であった補助金収入の一部が前倒しとなったことによるものです。

研究開発費について、現在当社では、貴金属事業･環境事業に次ぐ事業の柱を育てるべく、大規模な技術開発投資を実行しております。福島県いわき市に取得した用地に、レアメタル･レアアースの新しい分離･精製技術を確立するための実証プラントを建設中でありますが、上期に見込んでいた研究開発用の一部設備の導入が、4 月以降にずれ込みました。これは、当該実証プラントについて、消防署との調整の結果、建物および設備の仕様を若干変更する必要が生じたことによるものです。当社が実用化を目指している新しい分離･精製技術が、全く新しい方式のものであり、前例のないチャレンジングなものであることも、調整を要した一因と考えております。

これにより、上期に発生を予定していた費用が、下期に発生することになり、上期の実績は前回発表予想と比較して、営業損益で 106 百万円、経常損益で 109 百万円損失が減少しました。

さらに、特別利益として下期に見込んでいた補助金収入の一部である 58 百万円が、受給手続きが予定より早く完了したため、前倒しで計上されました。

以上により、前回予想と比較して、四半期純損益で 133 百万円損失が減少しました。

なお、研究開発費の発生と補助金収入については、発生時期は前後しますが、その金額はほぼ計画通りであることから、通期業績予想の修正はございません。また、研究開発活動自体は、上述の一部設備の導入の遅れはあるものの、概ね計画通り進捗しております。

以 上